



「妙齢」というと何歳くらいだと思いますか？

私は間違っ認識していたようです。「妙」という漢字から「微妙」な感じの年齢かと思っていたが、実際には若い女性を指すようです。「妙」は「少・女」の組み合わせです。英語だと「young lady」になります。

何人かの女性に「妙齢って何歳くらいのことだと思いますか？」と質問してみたところ、自分の年齢より少し上くらいを答えていたので、世間的にも正しく使われているかは、少し疑問ではあります。



他人にものを頼むのが苦手な方へ。カチッサー効果があります。

頼み事をするのって気がつかいませんか？ どう頼めば上手いくかなんて考え過ぎて疲れてしまい、それなら自分でやればいいかと結局頼めずじまいなんてことに...

そんなときに有効な小技があります。「カチッ・サー効果」です。語源は昔のテープレコーダーの再生ボタンを押すときの「カチッ」という音と、その後に流れる「サー」という砂嵐のような音からきているそうです。なんだか分かるような分からないような。元巨人の長嶋監督の指導法のような趣も感じます。

「カチッ・サー効果」の有名な実験として、コピー機に並んでいる順番を譲ってもらうときにどうお願いすればいいか？ というものがあります。

- ①「すみません、先にコピーをとらせていただけないでしょうか？」
- ②「すみません、急いでいるので、先にコピーをとらせていただけないでしょうか？」
- ③「すみません、コピーをとらなければいけないので、先にコピーをとらせていただけないでしょうか？」

結果として、承諾率は①60%、②94%、③93%だったそうです。



②は理由としては納得できるものですよね。でも、③は理由というか意味不明な屁理屈。それでも理由なしの①よりも、③のほうがお願いは通りますし、②と③がほとんど同じなのも興味深いです。理由はなんでもOKというのがポイント。ということで、頼み事をするときは適当な理由を「カチッ」とつけば、「サー」と了解してくれることでしょう。お試し下さい。

『繊細な仕事ですね』なんて言いたいしますが、繊細さにも色々...

HSPってご存知でしょうか？

Highly Sensitive Person (ハイリー・センシティブ・パーソン) の略で、生まれつき感受性が強く敏感な気質をもった人のことです。

私もお客さんに聞いて初めて知りました。そのお客さんは音や臭いに対して敏感な女性なのですが、そのお客さんの友人が「あなたにピッタリの本がある」と彼女に勧めてくれたのがこの本。

「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる「繊細さん」の本
武田 友紀

これまでだったら神経質過ぎると片付けられていた気質を、「繊細さん」というネーミングにしたことが絶妙。実際に本を読んだことで、「自分はコレだったんだ」と安心した人が多数いるようです。



お客さんにも「繊細さん」は多数いらっしゃいます。

本人的には苦勞している部分もあるのですが、話のネタ的にはユニークなものが多かったりします。

ある女性は同僚の臭いに敏感。ストレス臭がわかるといいます。

イライラ、ぷりぷりしていると臭いまで発生させるのですね。普通の人には分からないのですが、いい匂いではなさそう...

ある女性は音に敏感。オンラインでのセミナー後のオンライン飲み会のとき、あるオジサンが煎餅をバリバリ食べる音が気になって気になって仕方なかったといいます。

本にはHSP診断のチェックリストがあったので、私もやってみたらバリバリHSPでした。

正直、「ホントか？」と思いました。目は悪いし、鼻は利かないし、音痴だから耳も悪いだろうし、味覚も適当だし。敏感なのは触覚くらいなものです。一方、なるほどと思えることはあります。人込みは苦手、一人の時間がないとダメ、飲み会などは好きで楽しめるほうですが翌日はグッタリしていたり。だからといって、自分はこういう性質だからと自覚してるので、生きにくいとは思ってはいません。

きっと人それぞれに敏感な部分と鈍感なところがあり、それに対してストレスを感じたり悩んだりしているのでしょうね。それぞれのセンサーにボリュームのつまみのようなものがあり、感度をチューニングできたら便利ですけど...

編集後記 12月29日に母が亡くなりました。享年77歳。スキルス胃がんにかかってから一年半。今は「やっと闘病生活が終わったね。もう頑張らなくていいね」という気持ちです。喪失感が強くなるかなと思っていたのですが、安堵感のが当てはまる感じ。きっと、お別れを準備する期間があったからかなとも思います。成仏してほしいです。というわけなので、手続等があるので臨時でお休みをとることがあります。ご了承ください。HP等に記載しておきます。

【大泉】